

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和元年度 第1回 相模原市下水道事業審議会				
事務局 (担当課)		下水道経営課 電話042-707-1840(直通)				
開催日時		令和元年8月20日(火) 午後2時~4時20分				
開催場所		相模原市立総合学習センター2階 セミナールーム				
出席者	委員	12人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	15人(下水道部長、下水道経営課長、下水道料金課長、下水道保全課長、下水道整備課長、津久井下水道事務所長 他9人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 議題 (1) 下水道ビジョンの改定について (2) 下水道事業経営戦略の策定について (3) その他				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 開会

2 議題

(1) 下水道ビジョンの改定について

<事務局から資料 1 - 1 及び 1 - 2 に基づき項目 10 まで説明を行った後、質疑応答が行われた>

【資料 1 - 1】(8 下水道を取り巻く環境と課題について)

水源地域の生活排水処理対策が外的要因(外部環境)に位置付けられているが、生活排水処理は従来市内部の課題として把握されており、内的要因(内部環境)の 1 つではないか。

ご指摘のとおり、津久井地域の整備が未了であることは内的要因ではあるが、河川やダムなどの水源地域においては国や横浜市水道(県)等から、その対策についての要望もあり、このようにしている。

<事務局から資料 1 - 1 の重点施策等について説明を行った後、質疑応答が行われた>

各施策の成果指標に中間目標が設定され、計画期間中に進捗状況を把握する機会を設けていることを評価したい。

掲げられた成果指標の是非、単位や目標値が妥当なものであるのかを検討したい。

【資料 1 - 1】(重点施策 1 効率的な維持管理、改築・更新事業の実施)

- 管きょ調査率の指標について、目標である「調査率」にはそれに伴う修繕も含むと解釈してよいか。

ストックマネジメント計画では、まず調査を行ない、次に緊急度判定の結果によって修繕計画を立てるものとしている。耐用年数の経過した管きよの増加が見込まれている中で、まずは調査を開始するというのが現状であり、今後それに基づいて修繕計画を立てていく。

- 修繕状況について、計画の開始に合わせられなくとも指標を取り入れることはできないか。

中間目標に掲げている5年後であれば調査も進んでいるので、修繕計画についても指標化を考えたい。

- 調査の結果がなければ修繕の具体的な計画を立てるのは難しいので、指標ではなく、「重要度を加味して修繕を行なっていく」などの文言があればいいのではないか。

【資料1 - 1】(重点施策4 良好な水環境の形成)

- 取組が2項目だけでは不十分ではないか。

重点施策3 取組 ・ でも水質改善に関する取組を掲げており、再掲という形で対応したい。

- アオコや異臭の発生が苦情となったということがこの施策の背景にあると考えているが、その発生回数や苦情の数など、具体的に水環境が良くなっているという指標は設けられないか。

アオコが発生していた相模湖に関しては他県からの流入水や農地からのリンの流入が大きな原因と考えられ、本市の取組のみでは水質改善は難しい。また、近年アオコは発生しておらず指標に馴染まない。他の河川や湖の水質についても、下水道が整備される以前と違い、今後水質が大きく改善されるということは考えにくい。

【資料1 - 1】(重点施策 広報事業の充実)

出前講座の拡充について、最終目標値の3回は少ないように思われる。また、具体的に講師や内容などはどのような体制を整えているのか。

全庁的な取り組みとして、出前講座の依頼があれば対応しているというのが現状であり、受け身の姿勢で、低い目標設定になっていることは認識している。アウトリーチの必要性は感じているが、具体の事業化ができていない。子ども向け、大人向けの資料の用意や県公社からの資料提供、講師は下水道経営課が中心となっているが、内容によっては他部署等にも依頼をしている。

- 他の分野でも制度等はあるが利用が伸び悩んでいる。良いコンテンツであれば口コミ等でも広がっていくものなので活動を続けてほしい。

基礎的な話をしているので受講者の理解は得られていると考えている。現在の広報ツールの中で例えば「マンホールカード」も人気があり、注目されているので、出前講座はもちろんだが他のコンテンツも活用して広報活動を続けていきたい。

- 指標としてのHPのアクセス数だが、10年後にもHPが機能しているとは考えにくく、計画期間内で見直しが必要。マンホールカードやSNS等を用いて市民の興味を惹きつけるような情報発信をしていくことを考えるべきではないか。

市の普及啓発として時代に見合ったことを意識して今後展開する活動を検討していくが、活動の方向性や具体的な取組が定まっていないうちで定量的な指標を掲げることは難しいため、定性的なものを含めて検討したい。

- 具体的に啓発ができたことの「見える化」が可能となる(定量的な)指標を作り上げることを中間目標としてもよいのではないか。

(その他)

【資料1 - 1及び1 - 2】

- 和暦と西暦の統一をすべきではないか。

市の総合計画の表記とも整合を図り、統一又は併記としたい。

【資料1 - 1】

- 不明水対策の目標の3 3 6 3 ha や浸水対策の2 4 箇所 の根拠が不明である。

既存の調査の中で判明している不明水の多い区域や浸水被害の多い箇所の数値だが、冊子にする際には根拠の明示や解説を行う。

<事務局から資料2に基づき説明を行った後、質疑応答が行われた>

- 「昨年度のシミュレーションで収益的収支及び資金収支ともに黒字で推移する結果を得られたことから...使用料改定を見送っている」と表記すると、黒字であれば使用料を引き下げるべきと受け止められかねない。

ご指摘のとおりであり、表現を検討させていただく。

- 財政収支シミュレーションは過去にも行ったことがあるのか。その結果はどうであったのか。

初めての試みである。

<新しい審議会委員の紹介>

選出団体の役員交代により、新しく委員となった浅見氏の紹介を行なった。

3 その他

質疑なし

以 上

相模原市下水道事業審議会専門部会委員名簿

	氏 名	所 属 等	出 欠 席	備 考
1	おちあい かつじ 落合 勝司	相模原市自治会連合会（緑区）	出席	
2	たけだ みきお 竹田 幹夫	相模原市自治会連合会（中央区）	欠席	
3	もり いつお 森 逸雄	相模原市自治会連合会（南区）	出席	
4	おちあい ゆきお 落合 幸男	相模原市農業協同組合	欠席	
5	おおの のりお 大野 則夫	相模原商工会議所	出席	副会長
6	はやし かよこ 林 加代子	特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら	出席	
7	たくち めぐみ 田口 めぐみ	さがみはら消費者の会	出席	
8	あさみ よしひさ 浅見 佳寿	相模原の環境をよくする会	出席	
9	かわしま ゆみこ 川島 由美子	公益財団法人 神奈川県下水道公社	出席	
10	にしかわ まさし 西川 雅史	青山学院大学経済学部教授	出席	会 長
11	ひろた はるあき 広田 啓朗	武蔵大学経済学部教授	出席	
12	きし とおる 岸 徹	岸公認会計士事務所	欠席	
13	しのはら なおひこ 篠原 直彦	公募委員	出席	
14	す だ おさむ 須田 理	公募委員	出席	
15	もりや としひこ 守屋 俊彦	公募委員	出席	